

## 【調査概要】

1.調査対象者及びサンプル数：全国の20代～50代の成人男女、400人

<サンプル配分>

(単位：人)

		合計	20代	30代	40代	50代
合計		400	100	100	100	100
男性	メタボだと思っている人	100	25	25	25	25
	メタボだと思っていない人	100	25	25	25	25
女性	メタボだと思っている人	100	25	25	25	25
	メタボだと思っていない人	100	25	25	25	25

2.調査方法：インターネット調査

3.調査時期：2008年6月13日(金)～6月16日(月)

## 【ダイキン工業の空気感調査】

当社は、“空気”にこだわり、空調の技術を進化させてきたトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”についてもっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考えています。そのため2002年から“空気”に関する現代人の意識を浮き彫りにする「現代人の空気感調査」を実施してきました。

今回の調査は、その13回目となります。

<これまでの主な調査内容> ( )内は発表日

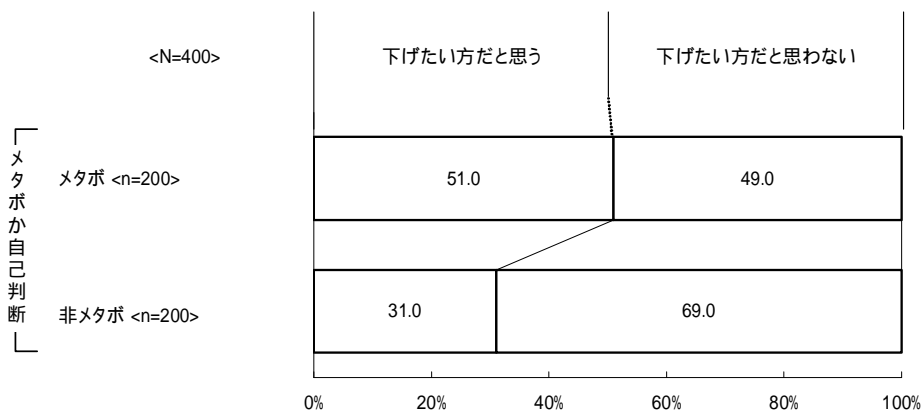
- |      |   |
|------|---|
| 第1回  | 1万人アンケート「心地よい空気の3大理想郷」(02年6月17日)                |
| 第2回  | 日本人の「空気・水・安全<3大無料(タダ)モノ>」(02年12月2日)             |
| 第3回  | 主婦に聞いた「夏の睡眠と空気」(03年7月22日)                       |
| 第4回  | 主婦に聞いた「冬の部屋の空気と風邪対策」(03年11月27日)                 |
| 第5回  | ビジネスパーソンに聞いた「健康増進法施行1年後の空気」(04年4月8日)            |
| 第6回  | ビジネスパーソンに聞いた「冬のオフィスの空気」(04年12月7日)               |
| 第7回  | ビジネスパーソンに聞いた「クールビズにみる夏のオフィス空気」(05年7月5日)         |
| 第8回  | 全国の主婦に聞いた「家庭内における冬の空気環境とウォームビズへの取り組み」(06年1月11日) |
| 第9回  | 小学生200名に聞いた「子どもと夏の空気」(06年7月20日)                 |
| 第10回 | 団塊世代層と団塊ジュニア層 男女400名に聞いた「夫婦の空気」(07年2月8日)        |
| 第11回 | 男女800名に聞いた「夏の空気と肌に関する意識調査」(07年8月8日)             |
| 第12回 | 1万人アンケート「5年前と比較した空気に対する意識変化の調査」(07年12月4日)       |

・メタボな人の方が温度を下げたい願望は“強く”、設定温度は“低い”

“温度を下げたい”と思うのは、メタボな人(51%)の方が非メタボな人(31%)よりも多い  
 真夏の部屋の設定温度、メタボな人の最多は25 (22%)、対する非メタボな人は28 (29%)

部屋の設定温度を他の人よりも下げたい方だと思うか聞きました。

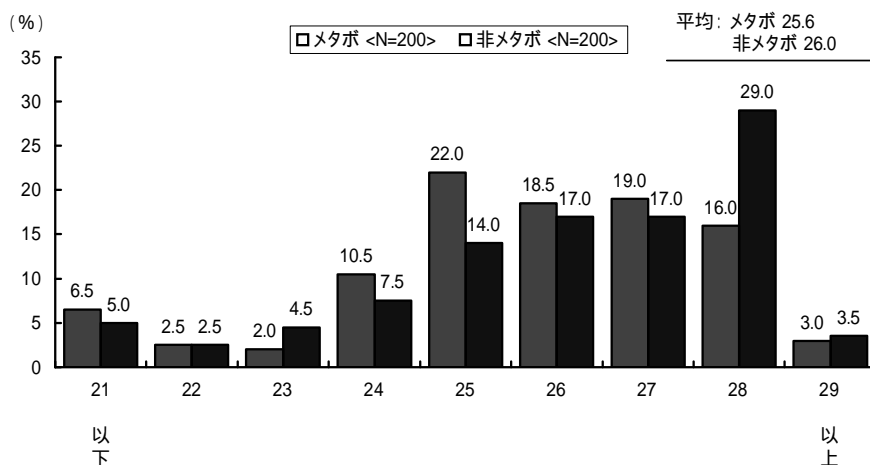
図1：部屋の設定温度を他の人より下げたい方だと思うか？



<メタボな人>は「下げたい方だと思う」(51.0%)が半数以上を占めており、<メタボでない人>(31.0%)を大きく上回っています。

夏の暑い時期、部屋の温度を何度に設定しているのか聞きました。

図2：メタボと非メタボを比較した「真夏の部屋の設定温度」



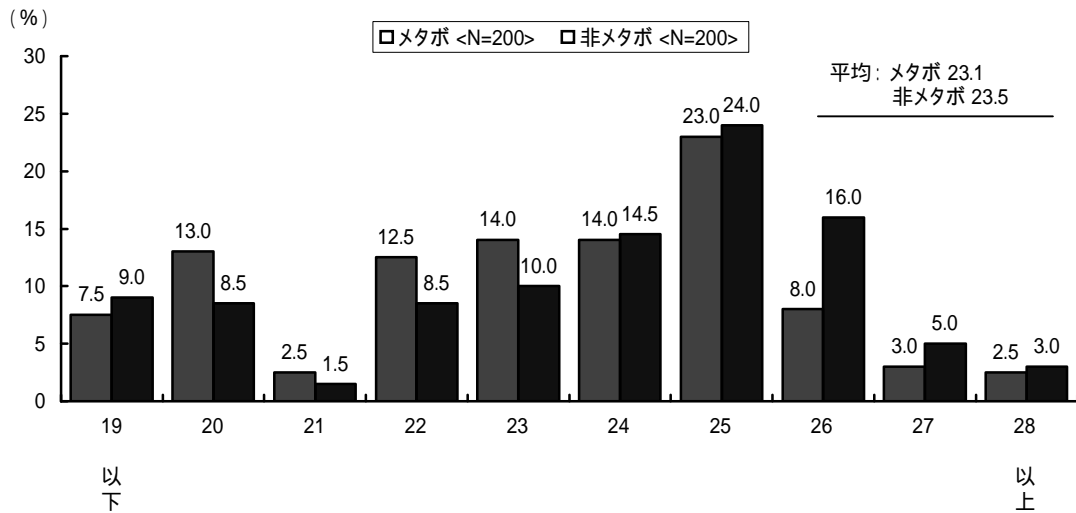
<メタボでない人>では「28」(29.0%)が第1位となっていますが、<メタボな人>では「25」(22.0%)が最も多く、次いで「27」(19.0%)、「26」(18.5%)の順となっており、「28」(16.0%)は1割台にすぎず第4位となっています。

．耳で聞いた時に“涼しく感じる”温度の全体の最多は 25（23.5%）、“暑く感じる”温度の全体の最多は 30（35.8%）

メタボな人は非メタボな人に比べ、設定温度が低くなるほど“涼しい温度”と感じる割合が多い傾向

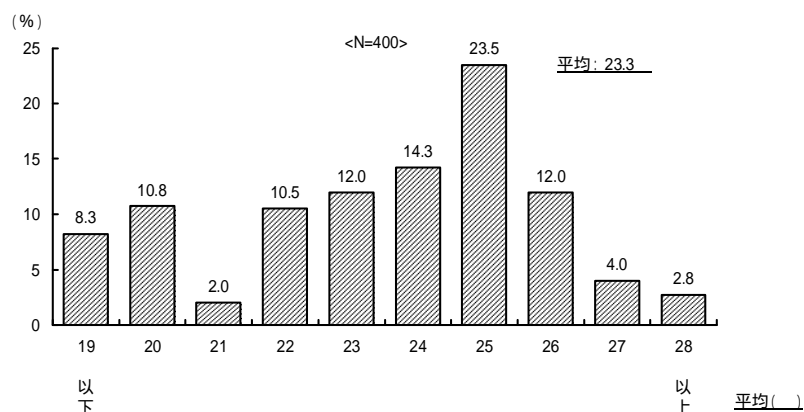
部屋の温度が何度に設定されていると聞いた時に涼しいと感じるのか、その温度を聞きました。

図 3：メタボ・非メタボ別に見た「聞いた時に涼しいと感じる温度」



<メタボな人>は「20」（13.0%）「22」（12.5%）「23」（14.0%）が<メタボでない人>を上回っているのに対して、<メタボでない人>は「26」（16.0%）などが<メタボな人>を上回っています。平均温度も<メタボな人>は 23.1 となっており、<メタボでない人>（23.5）よりわずかですが低くなっています。

図 4：全体で見た「聞いた時に涼しいと感じる温度」

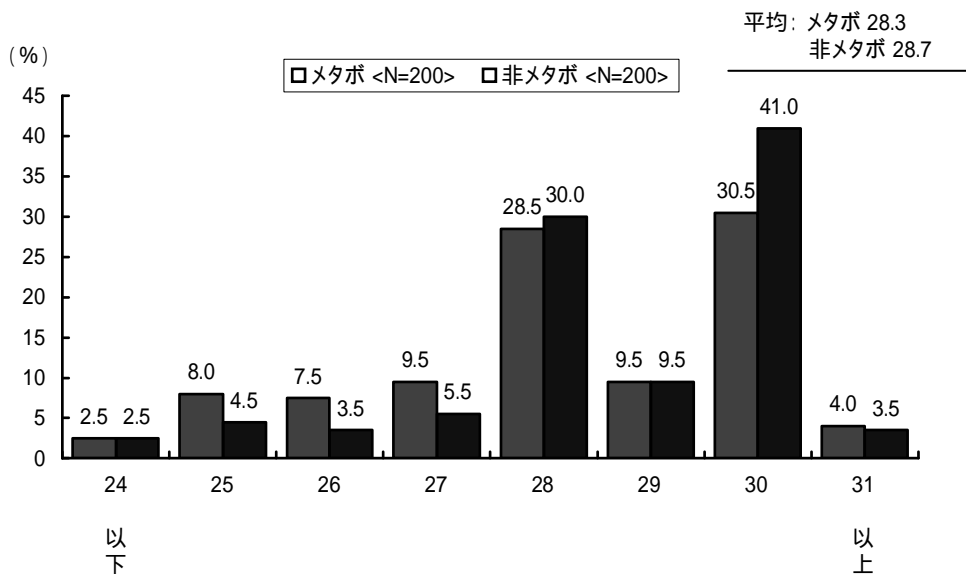


性別	男性 <n=200>	7.5	10.5	1.5	11.5	11.5	16.0	24.5	13.0	2.5	1.5	23.3
	女性 <n=200>	9.0	11.0	2.5	9.5	12.5	12.5	22.5	11.0	5.5	4.0	23.3
年代	20代 <n=100>	10.0	11.0	1.0	13.0	15.0	20.0	17.0	7.0	4.0	2.0	22.9
	30代 <n=100>	7.0	14.0	3.0	11.0	8.0	11.0	28.0	10.0	6.0	2.0	23.3
	40代 <n=100>	9.0	9.0	2.0	8.0	14.0	15.0	23.0	11.0	5.0	4.0	23.4
	50代 <n=100>	7.0	9.0	2.0	10.0	11.0	11.0	26.0	20.0	1.0	3.0	23.6

最も多いのは「25」（23.5%）で2割強があげています。以下、「24」（14.3%）「23」「26」（各12.0%）などが1割強の割合で続いています。平均は23.3 です。

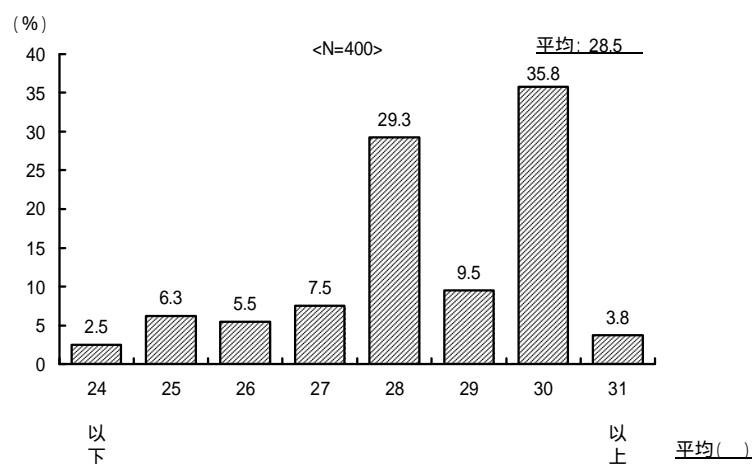
部屋の温度が何度に設定されていると聞いた時に暑いと感じるのか、その温度について聞きました。

図5：メタボ・非メタボ別に見た「聞いた時に暑いと感じる温度」



<メタボな人> <メタボでない人>ともに最も多いのは「30」ですが、その割合は<メタボでない人> (41.0%) が<メタボな人> (30.5%) を大きく上回り、<メタボな人> は「25」「26」「27」がわずかずつ上回っています。平均温度についても<メタボでない人> (28.7) より<メタボな人> (28.3) の方がわずかに低くなっています。

図6：全体で見た「聞いた時に暑いと感じる温度」



性別	男性 <n=200>	2.0	5.0	7.0	8.5	29.5	6.0	37.5	4.5	28.6
	女性 <n=200>	3.0	7.5	4.0	6.5	29.0	13.0	34.0	3.0	28.4
年代	20代 <n=100>	3.0	7.0	7.0	5.0	26.0	9.0	40.0	3.0	28.6
	30代 <n=100>	2.0	5.0	5.0	7.0	31.0	7.0	42.0	1.0	28.5
	40代 <n=100>	2.0	7.0	5.0	10.0	29.0	11.0	29.0	7.0	28.5
	50代 <n=100>	3.0	6.0	5.0	8.0	31.0	11.0	32.0	4.0	28.4

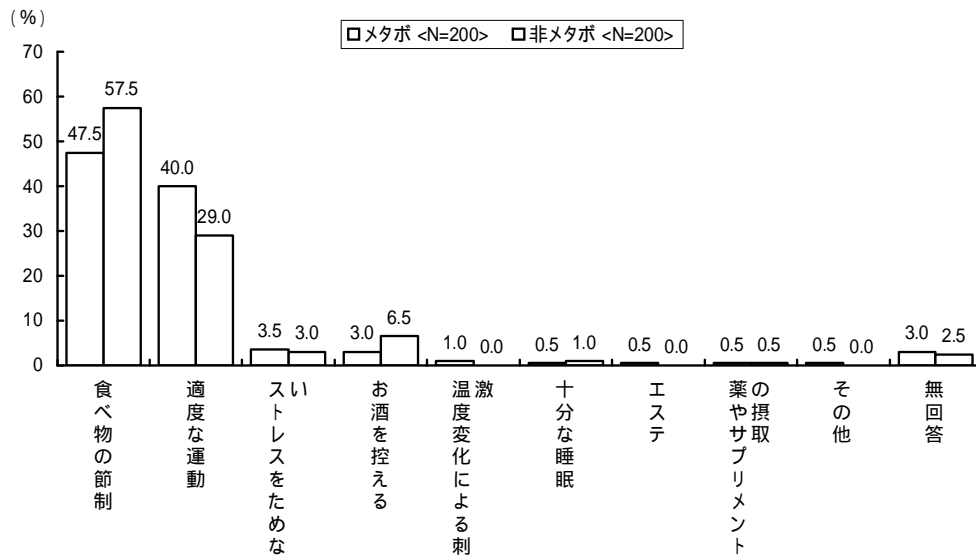
最も多いのは「30」(35.8%) で、次いで「28」(29.3%) の順となっています。それ以外の温度はいずれもあまり多くありません。平均は28.5 です。

・メタボ・非メタボな人の共通するメタボ予防や対策の意識

「食べ物節制」と「適度な運動」は“効果的”と思いながら、やっぱり“辛い”と思っている

メタボに最も効果的だと思う予防や対策を聞きました。

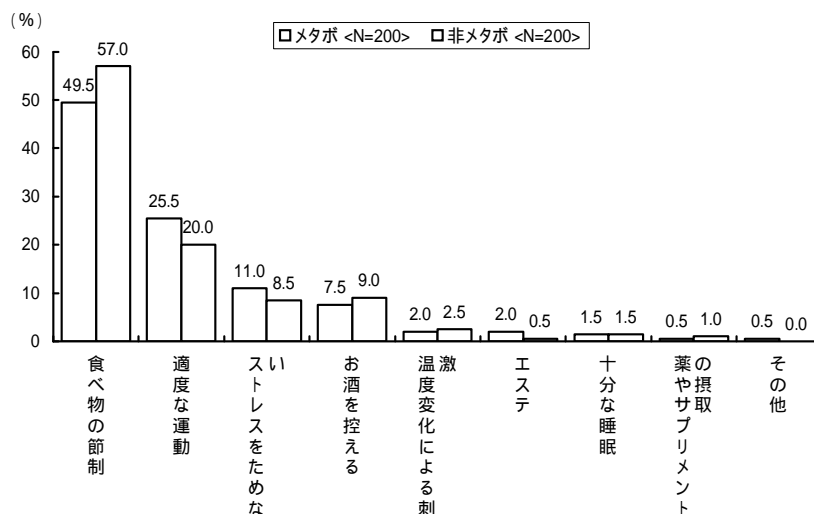
図7：メタボ・非メタボ別に見た「メタボに最も効果的だと思う予防や対策」



<メタボでない人>では「食べ物の節制」(57.5%)が際立っていますが、<メタボな人>では「適度な運動」(40.0%)も4割と比較的によく、トップの「食べ物の節制」(47.5%)とあまり差がありません。

最も辛いと思うメタボ予防や対策を聞きました。

図8：メタボ・非メタボ別に見た「最も辛いと思うメタボ予防や対策」



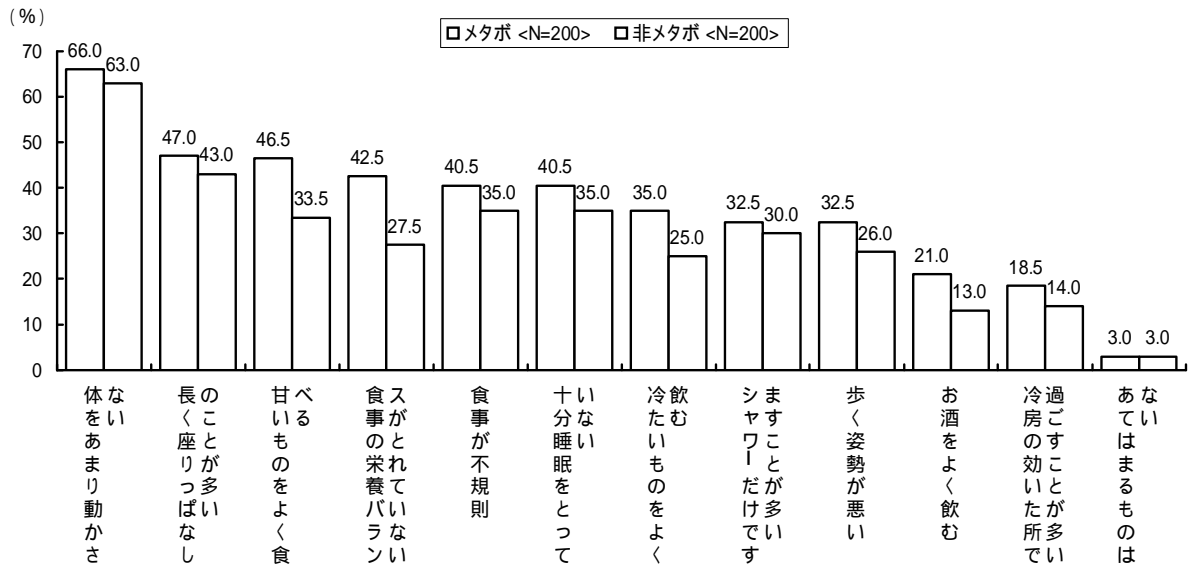
<メタボでない人>は「食べ物の節制」(57.0%)がとりわけ多く<メタボな人>(49.5%)を上回っています。一方、<メタボな人>は「適度な運動」(25.5%)が<メタボでない人>(20.0%)を上回っています。

・メタボ・非メタボな人の共通するメタボ予防や対策の意識

“基礎代謝を下げる行為”で最も行っているのは、両者ともに「体をあまり動かさない」

基礎代謝を下げるメタボな行為の中でどんなことを行っているのか、あてはまるものを全てあげてもらいました。

図9.メタボ・非メタボ別に見た「行っている基礎代謝を下げる行為」【複数回答】



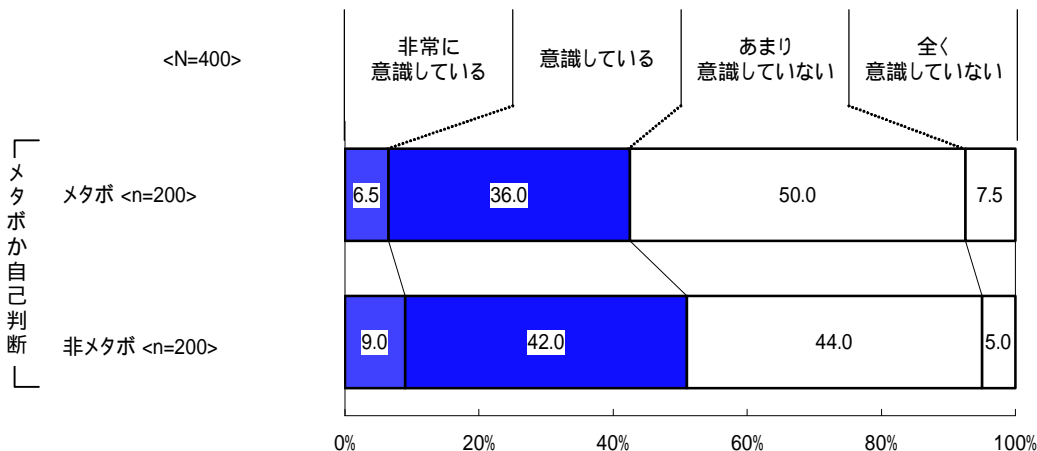
「食事の栄養バランスがとれていない」「甘いものをよく食べる」「冷たいものをよく飲む」を始め、全ての行為で<メタボな人>が<メタボでない人>を上回っています。

・ **メタボ・非メタボな人ともに過半数以上が、健康の観点からは空気を“意識していない”**

メタボな人（57.5%）、非メタボな人（49%）ともに日頃から空気への意識は低い

健康という観点から日頃空気をどの程度意識しているのか聞きました。

図 10 . 健康の観点から空気を意識する度合い



「非常に意識している」「意識している」ともに<メタボでない人>（9.0%、42.0%）が<メタボな人>（6.5%、36.0%）を上回っており、両者を合わせた“意識している”が<メタボでない人>（51.0%）では半数強を占めていますが、<メタボな人>では“意識していない”（57.5%）が半数を超えています。

本調査の詳細につきましては、「総合報告書」も合わせてご覧ください。

「総合報告書」は、当社ホームページからダウンロードできます。

空気調査レポート（AIR CITY「空気の学校」内）アドレス <http://aircity.daikin.com/school.html>